

7階西病棟

診療科

脳神経外科・脳神経内科

病床数

49床

看護師数

看護師長1名、副看護師長3名、看護師28名

主な疾患

脳神経外科：脳腫瘍、脳血管障害、てんかん など

脳神経内科：脳卒中、筋萎縮性側索硬化症（ALS）、パーキンソン病、末梢神経障害 など

治療・検査

脳神経外科：開頭手術、血管内手術、化学療法、放射線療法、脳波モニタリング など

脳神経内科：確定診断のための検査（画像検査、筋生検・神経生検・髄液検査など）、ステロイドパルス療法、血漿交換、免疫グロブリン大量療法 など

看護の特徴

◎多職種で合同カンファレンス（チームカンファレンス）を実施し、治療方針の確認、情報の共有を行い看護に活かしています。

◎手術前後の急性期看護や、放射線療法・化学療法による有害事象に対する看護を行い、患者さんが治療を完遂できるように支援を行っています。

◎疾患によって身体状況が変化した患者さんに対して、状態に合わせたADLの援助を実施したり、作業療法士や理学療法士、言語聴覚士とともに退院後の生活を見据えたりハビリを実施したりします。

◎在宅療養を行う患者さんに対しては、家族や本人へ胃ろうの管理や吸引など、必要な看護や介護技術を指導しています。

